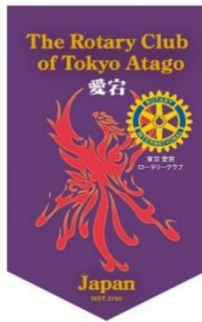


No. 24 2015/1/20

WEEKLY REPORT 2014~2015



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
 副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
 副会長 波多野まみ
 例会場 東京アメリカンクラブ
 例会日 毎週火曜日 8:00~

2015年1月20日(火)

今年度第25回(通算61回)例会

本日のプログラム

<イニシエーションスピーチ>

東京愛宕RC親睦ニコニコ委員長

株式会社アットアール 代表取締役

丸山 中 会員

■2015年1月13日 会長挨拶

会長 尾関勇

本日は大変苦勞され、大使にもなられたゾマホン様の卓話を楽しみにされている方も多いと思います。

ロータリーの友にHPの活用について情報発信が掲載されています。私共のHPやFacebook等の活用、例えば地域からのアクセスや色々な方々の情報が集まって来て良いと書いてあります。またロータリーは今年度よりイメージやロゴが統一とあり、使用方法もわかります。1月はロータリー理解推進月間ですので、ぜひ皆様も今一度読んで頂き、8万8千人の国内ロータリアンのネットワークを生かし、奉仕のプロジェクト始め見識を広めたり事業に役立てて頂ければと思います。

昨日、お坊さんや神主さんが多く出ているテレビ番組があり、普及も含め、恐らく一般庶民の人にわかりやすく説明したり、また他番組では諸外国の方々が各国の文化の違いを取り上げたりするのは、日本だけではないかと思えます。先週も痛ましい事件がありました。海外だとややセンシティブに激しいことになる。日本だと諸外国・ムスリムの方も非常に仲良くされているように見られます。非常に特徴的だと思えました。

創業支援塾が2月10日に第3回目を迎えます。皆さんの情報共有が重要であり、皆さんの心の準備もごさいます。今回は補助金について最初に説明されると聞いています。ちょうど政府も閣議決定され、補助金が非常に多く出されるようです。地域での創業、数年以内の創業者、海外進出の方もぜひ補助金の活用をして頂きたいと思えます。皆さんも創業支援塾で学べることは学び、知って得することは活用されてください。最後に、昨日は成人式でしたが、非常に親に寄り添っているというニュースを聞きました。自分よりも、社会のことや親に本当に感謝しているという世代だそうです。印象的だったのが、阪神・淡路大震災をご存じない世代の方々が、どこかに勤めるというより起業したい独立したいというインタビューが多かったです。今のアメリカの傾向でもありますが、いいことだと思っています。日本の場合ほとんど小規模の事業者、中小企業ですので、そういったところが活性化し経済が豊かにならないといけない、出来ることは行いたいと思っています。

本日の卓話者のゾマホン様ですが、渋滞で大変遅れているということで、ギリギリにお越しいただきご挨拶を頂く形になるかと思われま。ご紹介者の市村会員のご主人でもある長野ロータリークラブ市村次夫様が、ビジターとしてお越しくださっていますので、急遽卓話をお願いすることとなりました。全国で町のブランド発信、町づくり、企業文化・日本文化のことで、皆さんが講演して頂きたいと

~四つのテスト~

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

言行はこれに照らしてから行うべし

訪れるほど講演の多い方です。

<1月13日の卓話>

長野ロータリークラブ

小布施堂 代表取締役

市村 次夫 様

長野県長野市より更に北東に20km行った場所に住み、商売もしております。千曲川(新潟に入ると信濃川)に向かって山から色々な支流が流れており、典型的な扇状地です。松川という支流が流れていますが、この支流が千曲川と合流するので逢瀬、小布施の語源だとも言われています。戦国時代、松川が何本かに分かれていたのですが、武将福島正則が大坂夏の陣が終わった後、広島から流され、屋敷を構えます。戦国武将は土木事業が得意なようで、分かれていた松川の流れを変え、河原にできた空間に市場町、小布施村を作りました。この周辺に会った村々と一緒になり、現在の小布施ができます。全部足しても19平方km、長野県の80弱の市町村で最も面積の小さい村です。

扇状地は農業に密接な関係があり、江戸時代は綿花、後期~養蚕、明治の終わり~大正にりんごとさかんでした。そして一貫して古くから植えられていたのが栗でした。江戸時代には一つの木で40町、現在は70町。扇状地の中盤以外は作るのを許されなかった。我々が考えなければならぬのが、江戸時代でさえこの小さい中で栗には一番美味しいものが出来ると知っていたんです。ところが今農作物について言えば、できれば全部植えてしまおうと感じて、この部分に植えればクオリティが高い、という概念はなくなってしまったのが今の日本です。

1842年、当時83歳の北斎が招かれています。ランドマークの雁田山の麓の岩松院というお寺の天井絵を描きます。厚さ1寸の樺のパネル12枚に描いています。下で描き、上に嵌め込んでいます。昭和51年(1976年)肉筆画美術館「北斎館」を開館しました。2つの祭り屋台の天井絵は波、もう一つは龍と鳳凰です。一辺約125cmです。北斎の「神奈川沖浪裏」から、ドビュッシーは交響詩「海」作曲し、初回演奏会パンフレットの表紙にしています。クールベもこの影響を受け「波」を描いています。ちなみに欧米では、「神奈川沖浪裏」を「Great Wave」と言っているそうです。小布施の町は面積が小さいため町民同士割と親しくまとまりが良いんです。1998年長野オリンピックの年、4月18日が北斎の命日、また通訳ボランティアが多くいたので「国際北斎会議」を開きました。

小布施の町は栗で知られています。現在80ヘクタールくらいに段々増えてきましたが、あちこちに点在しています。棚田も減り、江戸時代には作らなかった場所にも作っています。なぜこんなに有名になったかという、一つは味が良いので、幕府への献上物となりました。そ

してもう一つの理由が、砂糖を使い、早くも栗ようかんを作るようになります。平地に作ったので栗林、栗畑とも言います。1800年代の初めから菓子にするようになりました。とはいえ、季節菓子的な部分があり、もちろん砂糖と煮込んで栗餡にし、壺に詰めてもたすこともしていました。明治末期に缶詰技術により通年商品になり、東京へも出すようになりました。三越さんがデパートに始めるようになってから散発的には出し、昭和2年には経常的になりましたので、随分と古いものです。栗菓子も、昭和30年代のオフセット印刷の普及に伴いデザイン箱に入れるようになりました。早くから他のお店との違いがはっきりするよう、アイデンティティを考えたデザイン政策を行いました。



栗菓子のメーカーから、飲食をセットにした店舗の開設を始めました。そこから小布施に来たらならではがが必要なのではと、「朱雀」という商品を作りました。傷みやすいためテイクアウトはなく、小布施に来てぜひ味わっていただきたいという仕込みの時期だけの季節商品です。今から35年くらい前に、町並み修景事業が始まりましたが、後日機会がある時にお話させていただきたいと思います。

■西アフリカ・ベナン共和国
駐日特命全権大使

ゾマホン・イドゥス・ルフイン様

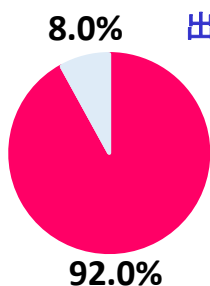
1月13日の卓話を予定されていましたが、ゾマホン大使に、例会の最後、ご挨拶を頂戴いたしました。



◆◆ 出席報告 ◆◆

2015年1月6日 出席状況

- ・会員数 25名
- ・出席者 23名
- ・ビジター 0名
- ・ゲスト 0名



出席率内訳

- 当日出席数(23)
- 修正出席数(0)
- 欠席数(2)

修正出席率
92.0%

《目標出席率》
本例会50% 修正100%

◆ニコニコBOX◆ ￥9,000 累計総額 ￥342,480

・ゾマホンさん、本日はありがとうございます。又、市村さんにも感謝です。いつか一緒にベナンへ行きましょう。(尾関)・おかげ様で3回目の歯科外科手術も無事に成功しました。脇先生はスゴイ!(石渡)・ゾマホン大使、今日はありがとうございます。(市村)・おはようございます。ゾマホンさん卓話楽しみをしています。(柳)・ゾマホンさん、愛宕RCによろこそ!!(若山)

1月・2月のプログラム

○1/27(火)卓話: 久木留毅様(公益法人日本オリンピック委員会・情報戦略部門長、専修大学文学部教授

『2020年東京オリンピックに向けての日本のスポーツ行政の取り組み』(仮)

◆1/28(水)15:00~新会員セミナー<該当者のみ>

●2/3(火)朝例会なし ⇒ ジャパンロータリーデーに振替 <7:45~8:15 メーキャップ対応あり>

◆2/4(水)ジャパンロータリーデー@<登録者のみ> ※欠席者は各自メーキャップをお願いいたします。

○2/10(火)卓話: 鬼頭秀彰様(ザクセスコンサルティング株式会社代表取締役、キセキノメイシ運営)、9:00~理事会

○2/17(火)スピーチなし、8:30~第4回クラブ協議会<ビジター・ゲストには8:30でご退会いただけます>

●2/24(火)朝例会なし ⇒ 地区大会に振替

○2/24(火)・2/25(水)地区大会@グランドプリンス新高輪<該当者のみ> ※欠席者は各自メーキャップをお願いいたします。

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

